

授業科目名： 教科（体育）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	すみもと あつし 担当教員名：住本 純
			担当形態 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、体育科における目標や内容について指導する。		
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校） 領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「体育」（小学校） 領域に関する専門的事項 「体育」（幼稚園）		
「学位授与の方針」との関係 ・ 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 ・ 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ （１）小学校体育科について、学習指導要領を読み解き、体育科の目標について理解する。 （２）体育科教育・スポーツ教育を取り巻く基礎的・制度的条件について理解する。 （３）体育科の基礎知識（体育科の基本的性格や内容論）等を理解する。 （４）体育科の評価について理解し、評価の在り方を考える。			
授業の概要 体育科教育・スポーツ教育を取り巻く基礎的・制度的条件、体育科の基礎知識（体育科の基本的性格や内容論）等を総合的に学ぶ。			
授業計画 第１回：小学校体育科の意義 第２回：スポーツ、体育の歴史 第３回：学校体育が抱える諸問題 第４回：体育科における教材づくり論 第５回：「体づくりの運動遊び」「体づくり運動」の目標と内容 第６回：「器械・器具を使つての運動遊び」「器械運動」の目標と内容 第７回：「走・跳の運動遊び」「走・跳の運動」「陸上運動」の目標と内容 第８回：「ゲーム」「ボール運動」の目標と内容 第９回：「水遊び」「水泳運動」の目標と内容 第１０回：「表現リズム遊び」「表現運動」の目標と内容 第１１回：「保健」の目標と内容 第１２回：体育科における評価の在り方 第１３回：体育科における情報機器の活用の在り方 第１４回：体育科における指導方法の在り方 第１５回：指導と評価の関わり 定期試験			

スクーリングでの学修内容

小学校体育科の目標や内容の基礎を学ぶ。そして小学校体育科の系統性や科目特性を理解し、学習指導要領を読み解きながら体育科の各領域の具体的な指導内容および方法を学ぶ。（主に、第１回～１５回の内容を含む。）

教科書

文部科学省『小学校学習指導要領解説 体育編』東洋館出版社

参考文献

- ・岡出美則 友添秀則 岩田靖 編著 『体育科教育学入門 三訂版』 大修館書店
- ・岡出美則 編『初等体育科教育』 ミネルヴァ書房

学生に対する評価

レポート評価（２５％）、スクーリング評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。